

第3部

RTシステム構築実習

宮本 信彦

国立研究開発法人産業技術総合研究所
ロボットイノベーション研究センター
ロボットソフトウェアプラットフォーム研究チーム



資料

- USBメモリで配布
 - 「WEBページ」フォルダのHTMLファイルを開く
 - チュートリアル(RTM講習会、第3部) _ OpenRTM-aist.html
- もしくはRTミドルウェア講習会のページからリンクをクリック
 - チュートリアル(第3部)

プログラム(予定)

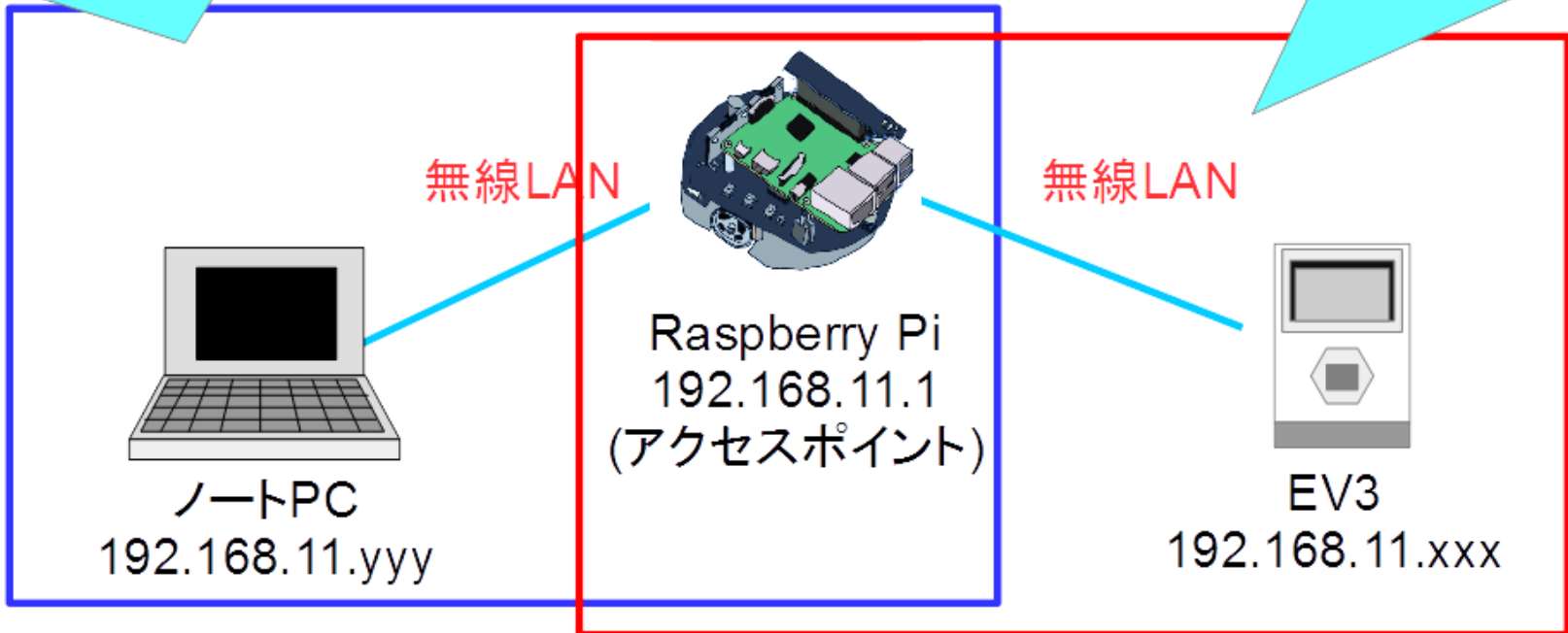
10:00 -10:50	第1部(その1)：RTミドルウェア: OpenRTM-aist概要 - 担当：安藤 慶昭(産総研) - 概要： RTミドルウェアはロボットシステムをコンポーネント指向で構築するソフトウェアプラットフォームです。RTミドルウェアを利用することで、既存のコンポーネントを再利用し、モジュール指向の柔軟なロボットシステムを構築することができます。 RTミドルウェアの産総研による実装であるOpenRTM-aistについてその概要について説明します。
11:00 -12:00	第1部(その2)：インターネットを利用したロボットサービスとRSIの取り組み2019 - 担当：成田雅彦 氏（産業技術大学院大学）
12:00 -13:00	昼食
13:00 -14:30	第2部：RTコンポーネントの作成入門 - 担当：宮本 信彦(産総研) - 概要： RTシステムを設計するツールRTSystemEditorおよびRTコンポーネントを作成するツールRTCBuilderの使用方法について解説するとともに、移動ロボットのシミュレータを用いた実習によりRTCBuilder、RTSystemEditorの利用法の学習します。 チュートリアル(第2部、Windows) チュートリアル(第2部、Ubuntu)
14:30 -15:30	第3部：RTシステム構築実習 - 担当：宮本 信彦(産総研) - 概要：OpenRTM-aistを利用して移動ロボット実機を制御するプログラムを作成します。 チュートリアル(第3部)
15:30 -17:00	第4部：RTミドルウェア応用実習 - 担当：宮本 信彦(産総研) - 概要：ポータブル版LibreOffice用RTCの利用方法について解説を行うとともに、表計算ソフトによるRTCのテストの実行についての実習を行います。 チュートリアル(第4部)

複数台のロボットが連携するシステムの構築

- アクセスポイントのRaspberry PiにノートPCとLEGO Mindstroms EV3を接続する

2部の実習完了時点で、
Raspberry PiとノートPCが接続済み

アクセスポイントのRaspberry PiにEV3を接続する



EV3配布

- Raspberry Pi、EV3の番号を確認



2部で使用したRaspberry Piと
同一番号のEV3を使う

Educator Vehicle組立て

- Educator Vehicleの組立て

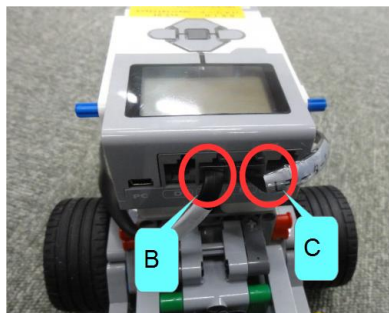
- EV3を本体に装着

EV3本体を土台に取り付ける



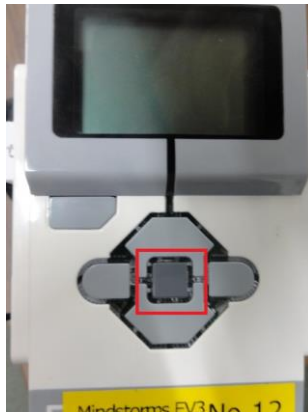
- EV3とLモーターをケーブルで接続

- B → Lモーター(左)
- C → Lモーター(右)

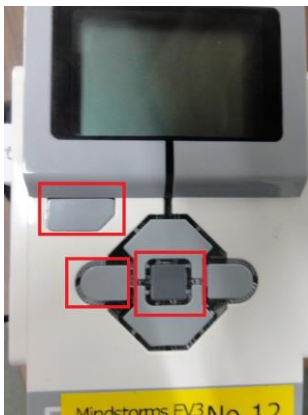


EV3の接続

- 電源投入
 - 中央のボタンを押す
 - 起動すると自動的にアクセスポイントに接続

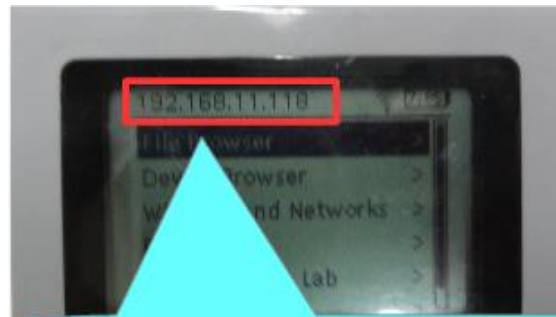


- 起動しない場合はリセットを実行する



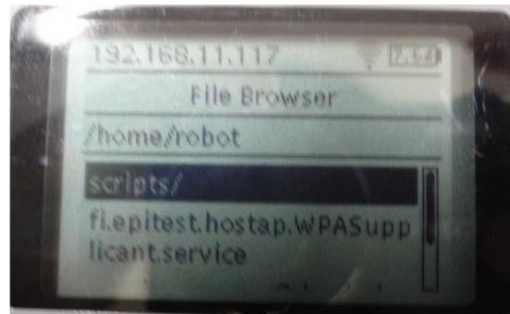
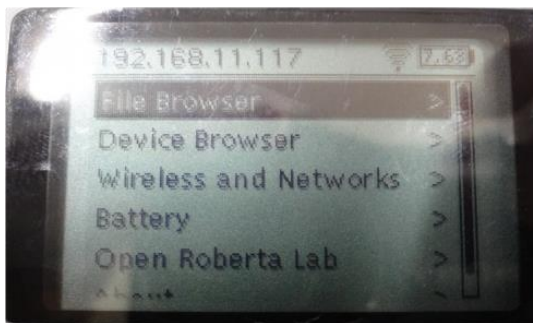
EV3の接続

- IPアドレスが192.168.11.xxxになっているかを確認する
 - 接続には多少時間が必要



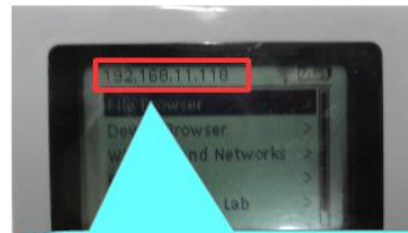
画面表示されたIPアドレスを確認する

- スクリプトファイル実行(RTCの起動)
 - ボタン操作で「**File Browser**」→「**scripts**」→「**start_rtcs.sh**」を選択

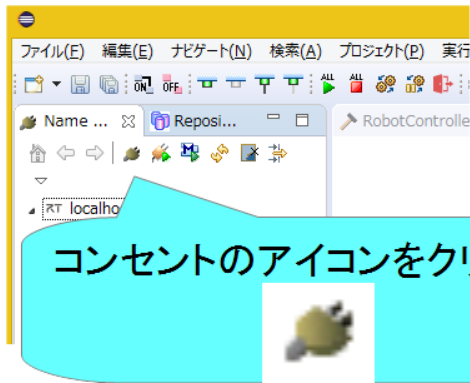


EV3(2台目の接続)

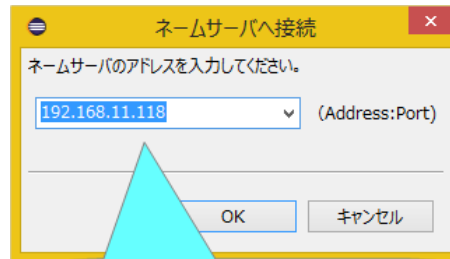
- ネームサーバーの接続
 - EV3の画面上に表示されたIPアドレスを入力する



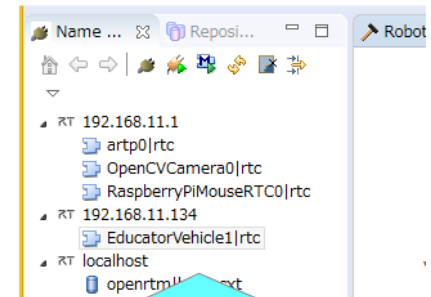
画面上に表示されたIPアドレスを確認する



コンセントのアイコンをクリック



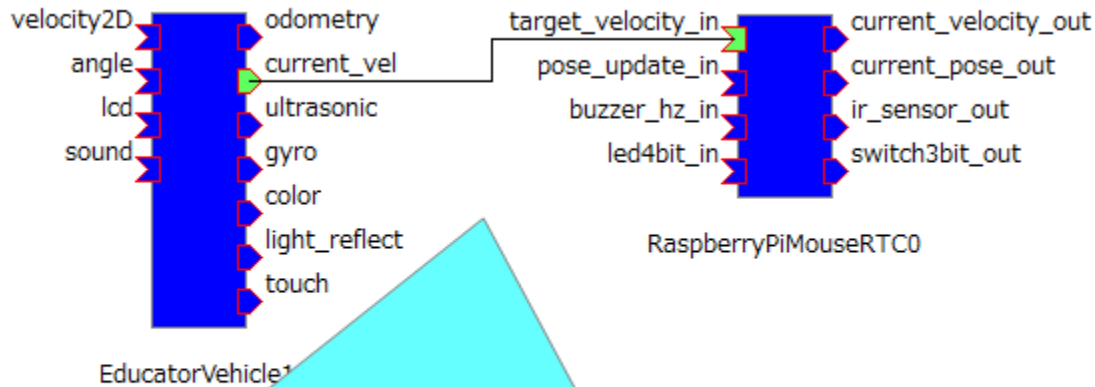
192.168.11.xxxを入力



3つのネームサーバーが接続済み

動作確認

- データポートの接続
 - EducatorVehicle0の現在の速度出力をRaspberryPiMouseRTC0の目標速度入力に接続する。
 - `current_vel(EducatorVehicle0) → target_velocity_in(RaspberryPiMouseRTC0)`



**EducatorVehicle1のアウトポートを
RaspberryPiMouseRTCのインポートと接続**

動作確認

- RTCをアクティブ化する



「All Activate」ボタンを押す

